



株式会社NTTデータ

News Release

[本ニュースリリースは、株式会社NTTデータ、日本NCR株式会社の共同リリースです。]

2011年9月9日

日本 NCR と NTT データが開発した 消費者のカード情報を犯罪から守る決済アプリケーション 国際セキュリティ基準機関より共同で国内初の認定を取得

日本 NCR 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:マイケル・J・バリエ、以下日本 NCR)と株式会社 NTT データ(本社:東京都江東区、代表取締役社長:山下徹、以下 NTT データ)の2社が開発した決済アプリケーション・ソフトウェアが、クレジットカードの国際セキュリティ基準を管理する団体 PCI-SSC(Payment Card Industry Security Standards Council)より、共同で国内初の PA-DSS(Payment Application Data Security Standard)(注1) Version 2.0 認定を取得いたしました。

今回共同で認定を取得したのは、日本NCRの決済アプリケーション・ソフトウェア NCR Retail Enterprise Solution - ePayment(リテイル・エンタープライズ・ソリューション - イー・ペイメント)とNTT データが提供するクレジットカードの決済サービス、PastelPort(パステルポート)です。NCR Retail Enterprise Solution - ePayment には、PastelPort と接続する為のソフトウェアが標準で組み込まれているため、POS から PastelPort センタまで包括的にセキュリティを確保します。

なお、NCR Retail Enterprise Solution - ePayment は、カード決済に関する部分を独立してパッケージ化しているため日本NCR製のPOSはもとより、NTT データの PastelPort と接続して他社製のPOSをはじめとする各種カード決済端末にも導入が可能です。また、さまざまな電子マネーの規格にも対応しています。消費者のカード情報漏えいを保護しながら決済手段の充実を図ることによって、より顧客満足度の高いサービスを提供しようとする企業に、積極的に販売を行なってまいります。

(注1) PA-DSS (Payment Application Data Security Standard) 国際ペイメントブランドを中心に策定された、消費者のクレジットカード情報保護を目的とした情報セキュリティ基準です。クレジットカード決済アプリケーションを開発・販売する事業者が対象となります。